

第三十一回支部俳句大会の成績

寺島ただし先生 選

特選 湖を叩きて奔る白雨かな 大原たかし
 特選 水掬ふやうに白魚秤らるる 伊藤青砂

秀逸 海峡へ隊列を変へ鶴帰る 大橋風太
 同 団扇風寝入る赤子の指動く 工藤進
 同 父も子も村を誇りに耕せり 加藤百桜

佳作 葉桜や母校といふも石碑のみ 岩谷塵外
 同 万緑の底より湯の香湯の煙 大原たかし
 同 鳥海山を写し植田の風そよぐ 藤原よう子
 同 清明の雨ふくむ草立ち上がる 鈴木アヤ子
 同 農離れし兄の見てゐる春田かな 伊藤節子
 同 叩かれてなほ立ち上がる野焼の火 帆村類
 同 故郷のさくら観つづけ老いにけり 明沢榮子
 同 早苗挿す我が身を植うるやうに挿す 田村陽子
 同 涼風を入れてはじまる花卉市場 塚本佐市
 同 嘶きも未だおぼつかぬ仔馬かな 藤原貢太郎

伊藤青砂 選

特選 叩かれてなほ立ち上がる野焼の火 帆村類

秀逸 さみどりを散らすひと椀白魚汁 佐々木あや子
 同 先生を真つ直ぐ見つめ入学児 熊谷尚

佳作 先生はいつも自転車初雲雀 高田洋子
 同 飛花落花生家は遠くなりけり 鎌田光江

同 畏敬もて仰ぐ靈峰耕せり 米屋道子
同 春一番土を吸ひ込むブルドーザー 浅野法子
同 真昼嶺の空に溶け込む霾ぐもり 伊藤節子

岩谷塵外選

特選 霾やコロナのほかはすべて些事 種村聖巴子

秀逸 先生はいつも自転車初雲雀 高田洋子

佳作 子の口は真一文字や入学す 鈴木アヤ子
同 せせらぎも青き踏む子も野のひかり 伊藤青砂
同 叩かれてなほ立ち上がる野焼の火 帆村類
同 新たなる旅のはじまり雪解水 田村陽子
同 石の向き替へて棚田に水を張る 藤原貢太郎

泉千穂子選

特選 日時計に影なき日なり合歡の花 塚本佐市

秀逸 草取りの背まるやかにして無心 小林呼溪
同 出たがりの種のふくらむ種袋 斎藤淳子

佳作 菜園を離れし蝶の白さかな 中村榮一
同 碧天に辛夷真白の矜持かな 滝澤幸子
同 負ふた子と眠りに落ちて花疲れ 佐藤景心
同 子の口は真一文字や入学す 鈴木アヤ子
同 昼寝よくしたる子の顔まんまるに 斎藤淳子

互選高点句

一席 ⑩ 水掬ふやうに白魚秤らるる 伊藤青砂

二席 ⑬ ぜんまいに母幸せを揉んでゐる 加瀬谷敏子

三席 ⑪ せせらぎも青き踏む子も野のひかり

伊藤青砂

三席 ⑪ 叩かれてなほ立ち上がる野焼の火

帆村類

六席 ⑨ 先生はいつも自転車初雲雀 高田洋子

七席 ⑧ 葉桜や母校といふも石碑のみ 岩谷塵外

七席 ⑧ 蠶やコロナのほかはすべて些事 種村聖巴子

七席 ⑧ 草取りの背まろやかにして無心 小林呼溪

七席 ⑧ 新たなる旅のはじまり雪解水 田村陽子